

二〇一六年度 入試問題体験会

国語

【注意】

- ・試験時間は三〇分です。
- ・問題は一ページから四ページまでです。
- ・解答はすべて解答用紙に記入してください。
- ・字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。

次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

95

90

85

80

75

70

65

110

105

100

問一

——(1)「にもかかわらず、いやだからこそ、〈私〉を十分に表現するのは、それほど簡単な作業ではない。」とあります、なぜそのように言えるのですか。最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分のさまざまな経験をとりまとめているのは自分自身だと考

ていながら、自分のことを完全に表現する能力がすべての人備わっているわけではないから。

イ 自分のことをだれよりも理解しているのは自分自身であると思

いながら、実は自分以外の人の方がそれよりも適切に自分のことを

捉えていることが多いから。

ウ 自分のことは自分自身が最も理解していると思い込んでいること

によって、他人から見た自分に対する評価について考えられなくな

なっているから。

エ 自分のことは誰よりも自分が知つていると信じていることによつ

て、説明しきれない自分の要素があることを見逃してしまいか

だから。

問二

□ X にあてはまる語を文中から二字で抜き出しなさい。

問四

——(2)「現実世界での〈私〉は複数の顔を持つだろう。」とありますが、

これはどういうことですか。三行以内で説明しなさい。

問一

——(3)「〈私〉は〈私〉を離れることができるようになるのだろうか。」

とあります、 「〈私〉が〈私〉を離れる」とはどういうことですか。三行以内で説明しなさい。

問五

——(4)「つながりの実感を持つことができない。」とありますが、それ

はなぜですか。四行以内で説明しなさい。

問六

A □ → D □ に入る語として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし同じ記号は一度以上使えません。)

ア つまり イ ところが ウ たしかに エ さて

——ア～オのカタカナを漢字に直しなさい。

問七 本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 個人にとって私が何者かという疑問は何よりも大切なものであり、それを意識し続けることは変化が激しい現代社会においては不可欠の心掛けである。

イ 自分自身の存在がリアリティを失っている状況では脱中心化したネットワークを構築することができる。

ウ テクノロジーの進歩によつて個人は自分のあり方を自由にデザインできるようになったが、そのため自分自身を取り戻すことができる。

エ 過剰な情報の中で周囲の状況や自分の周辺を気にしすぎることによつて、自分の人格や欲求が分からなくなっている。

問九

この文章を読んだあとで三人の生徒が話し合いました。□ Y に当

てはまる語を問題文の中から十九字で抜き出して答えなさい。

A 「十七世紀の哲学者デカルトが言ったという『われ思う、ゆえに我あり』という言葉を知ってる?」

B 「少し古い言い方だね。現代の言葉に直すとどういう意味になるの?」

C 「それは『私は思つてゐる、だから私は存在してゐる』という意味だね。有名だよ。」

A 「この世界にあることは何でもその存在を疑うことができる。例えばいまここにある机や椅子はもしかしたら本当はここにはないかも知れない。」

C 「そう、^{まほろ}幻かもしれないし、夢を見ているのかも知れないしね。」
A 「でも、そのように疑っている私自身が存在しているのは確かな事実だというんだ。」

B 「なんか、へ理屈みたいだな。」

C 「でも、この考え方方が科学の発展に大いに役立ったんだよ。」

A 「物事を自分で思考し、それを積み上げていくのは科学の基本だからね。」

C 「この文章の筆者もデカルトに強い影響^{えいきょう}を受けているらしいよ。」

B 「たしかに『Y』は「われ思う、ゆえに我あり」と同じことを言っているね。」

